

## 令和2年2月4日 環境生活委員会開催状況

開催年月日 令和2年2月4日(火)  
 質問者 日本共産党 真下 紀子 委員  
 答弁者 気候変動対策担当局長 阿部 淳

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>一 地球温暖化対策について</b>                      通告をしていなかったんですけども、若干確認をさせていただきたいところがありますので、北海道地球温暖化対策推進計画に基づく施策の実施状況等について確認させてください。</p> <p><b>(一) 普及啓発について</b>                      「低炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換」と書かれているところで、どのような効果的なことがあったということで、道では、あまり知名度がない、ゆるキャラ、「えこまる」でしたか、「えこ之助」を使って活動されていたと思うんですけども、そうした効果、活用方法についてはどのように評価されているのか。</p> <p><b>(二) 家庭における取組について</b>                      エコポイントを付与して、非常に国を挙げて温暖化対策に取り組んだ時期がありました。その時に効果が上がったのが、どのような対策を各世帯、事業所でとったことによって、どれだけの削減効果があって、どれだけ経費を節約できたかという具体的な例をインターネット上で報告をして、ポイントが付与、取得するという、こういう形式の取組がなされたわけです。その時に私もやってみたんですけども、確かに、省エネ家電に変えとか、照明器具を変えとか、冷暖房機器の設定温度を変えとかによって効果があって、実質的に経費の節約につながったんです。家計が1割以上、電気料金が下がったという経験がありますけれども、そうした具体的な取組というのを、わかりやすく道民一人ひとりが取り組んで、自分から「私はこういうふうに取り組んでいますよ」という発信ができるような取組というのを検討していく。普及啓発にとどまらず、そうしたことができるような取組というのは、これまでやってきたとか、それとも検討していくお考えがあるのか、通告していないんですけども、お考えだけをお聞かせください。</p>	<p><b>(気候変動対策担当局長)</b>                      道の環境部門の普及啓発のキャラクター、えこ之助についてでございますが、温暖化対策に限らず、道の各種の環境イベントにおいては可能な限り活用すること、また、振興局や市町村を含めて要請がありましたら、地域においても派遣して取組を進めているところでございますが、それによる具体的な効果については細かな検証はしておりませんので、それに関する数値については手元にはございません。</p> <p><b>(気候変動対策担当局長)</b>                      家庭によるエコポイントを例とした取組についてでございますけれども、正確な年次は失念しておりますが、道におきましても、家庭でのチャレンジということで専用のホームページを開設して、それを使用して、各家庭でそれぞれ削減に取り組んでいただいたものを見える化するというような取組をして、普及啓発を図ってきたという経過がございます。                      家庭における温室効果ガスの削減、省エネを含めた取組につきましては、やはり数値を見える化するということが、ご指摘のとおり重要だと思いますので、今後、温暖化対策を進める上での重要なポイントとして、どういう取組ができるか、引き続き検討を進めたいと考えております。</p>